

2009年1月5日
タカヤ株式会社
RF事業推進部

TR3シリーズ、リーダーライタの使用上の注意のお知らせ

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

弊社TR3シリーズのリーダーライタ製品において、条件により下記の症状が発生することが判明しましたので、使用上の注意事項をご連絡いたします。

敬具

－ 記 －

1. 該当製品

TR3シリーズのリーダーライタ製品
(但し、TR3-C101 モジュールを除く製品)

2. 内容

動作モードが複数同時読取（アンチコリジョン）の設定で、「SIMPLEREADCmd」コマンドを使用した場合、タグの動作環境（例えば、静止状態にないタグ）により、レスポンスを返さないことがあります。単独読取の設定の場合このような症状は、発生しません。

3. 発生条件

以下の条件を満たす場合に発生することがあります。

- ・制御コマンド : 「SIMPLEREADCmd」コマンド
- ・読取モード : 複数同時読取（アンチコリジョン）
- ・タグの読取状況 : 例えば、静止状態にないタグに対して読取を行った場合

4. 回避策

- 1) 「SIMPLEREADCmd」コマンドを使用する場合、単独読取の設定でご使用ください。
- 2) 複数同時読取（アンチコリジョン）が必要な場合は、下記の方法をご検討ください。
 - ・データの書込
 - (1) WriteBytes、WriteSingleBlockコマンドによりデータを書き込む。
 - ・データの読取
 - (1) Inventory2コマンドでアンテナ有効範囲内のタグ枚数及び、タグのUIDを取得する。
 - (2) ReadBytesやReadSingleBlockを使用し、タグ枚数分UIDを指定した読取を行う。

5. 恒久対策

次回のファームウェア更新時に改修する予定です。

ご査収の程よろしくお願ひ申し上げます。

以上